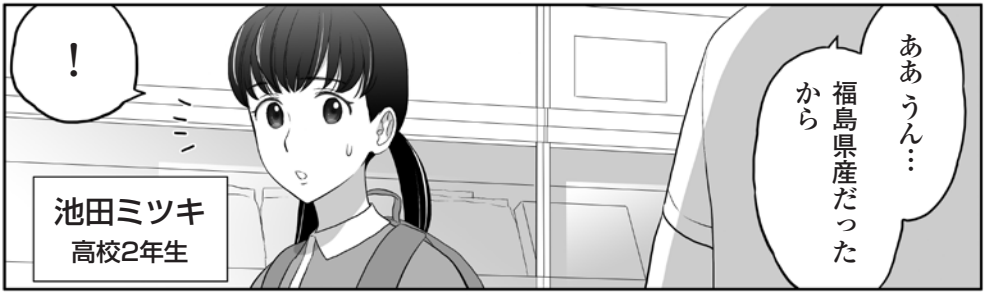
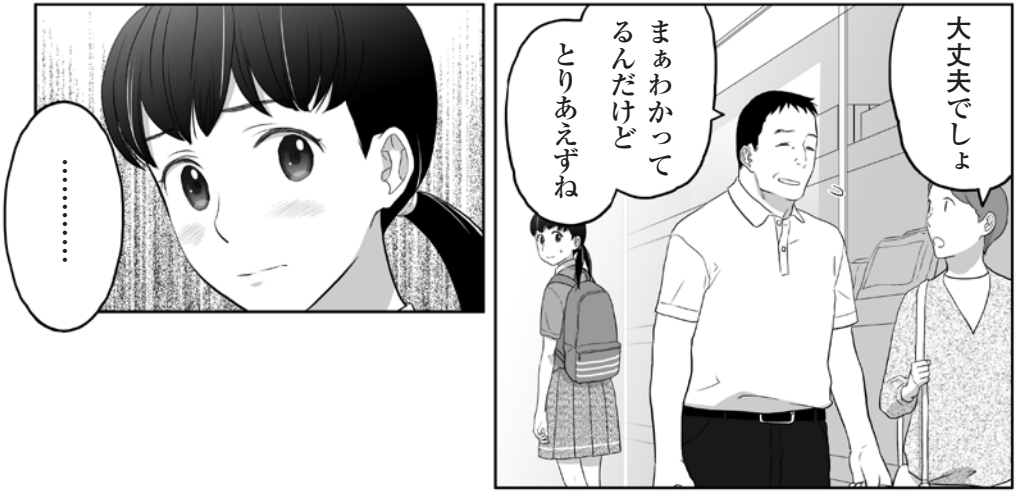
ふくしまを食べよう。

復興庁
Reconstruction Agency

東京
スーパー
おお
このピーマンは
美味しそうだな
…と
……あー
どうしたの？
あなた
買わないの？


ああうん…
福島県産だった
から
！
池田ミツキ
高校2年生


大丈夫でしょ
まぁわかって
るんだけど
とりあえずね
……

福島
ええ!?
なにそれ
信じられない
小川ユウナ
高校2年生
だよね
もっと福島の
現状が伝わって
いれば
こんな思い
しなくて
いいのに…

震災から
7年も
経つのにね
……
あの日から
みんなそれぞれに
色々な思いを持って
一歩一歩
前に進んで
やっと
笑えるように
なってきたのに…

だけど
高校生の私達には
何もできないからね…

…うん

早く大人に
なりたい

大人になって
福島の誤解を
ときたい…！

ユウナも
ミツキも
朝から
テンション
下がってるねぇ

これ食べて
元気出しな～？

立花アヤノ
高校2年生

あ…トマト？

ありがとう
アヤノ

いただき
ます

どーぞ
どーぞ～

！

美味しい～!!

これは？

ふふふ～

福島県南相馬市の
トマトだよ～！

福島のいろんな地域の
生産者さんを特集した
雑誌なんだけど

その人達が作った
食べものも一緒に
送られてくるんだ

コンピューター管理を導入しながらも手間をかけるところはかけているからこんなに美味しいトマトができるんだって！
へぇ～
コンピューター管理！
なんだかすごいね！
しかも大規模な温室で作られているらしいよ
高校生が伝えるふくしま食
農業経営ができる人を育ててこの地域の成長産業にしたいって想いもあるみたい
へぇ…！
それをもっと応援したくなるねフフフ
でしょ！
ふくしま食べる通信
しかもすごいのがこの雑誌を作ってるの私達と同じ高校生なの
えっ
高校生が!?

福島のかっこいい
農家さんの想いや
本当に美味しいものを
伝えたいって
気持ちから
始まったんだって

……！

ミツキ
どうしたの？

私……

まだ
高校生だから
できない
って
自分に言い訳
してた…

この雑誌みたいに
私達もきっと何か
できるはず…！

だったら
『高校生が伝える
ふくしま食べる通信』に
入部したら？

福島の高校生
募集してるよ

本当だ！

じゃあ
入部する！

ええっ!!?
本気で言ってるの!?
本気だよ
報道だけじゃ伝わらないんだったら
自分たちが福島の良さを直接伝えないと！
――じゃあ私も入部する
私だって福島のいいところを伝えたい！
じゃあ私も～
美味しいもの食べれそうだし♪
そ…そうね…
「高校生が伝える
ふくしま食べる通信」
編集部
あなた達が新しく入部した子たちね
「食べる通信」
事務局長
根本 優子
『高校生が伝えるふくしま食べる通信』は定期購読で年4回
1号2500円で
福島の生産者の想いを
旬の農作物付きで
届けている情報誌よ

あなた達が
書く文章に対して
読者さんから
代金をもらっている
つまり
遊びではないの
社会的意義を
理解して
取り組むように
してね

……根本さん
なんだか怖いね
そう？
キャリアウーマン
って感じで
私あこがれる
けどなぁ～
いきなり
夏号の取材をして
ほしいって
言ってたよね
うん

農家さんに
取材を申し込んで
みるね

ほ…
ほ…本日は
よろしく
お願いします！
緊張しなくても
大丈夫だよ
ははははは
うちは自然と
寄り添う
野菜づくりを
目指している
つまり無農薬・
無化学肥料での
栽培に挑戦して
いるんだ
まずは農地を
見学していってくれ
立派な
とうもろこし
ですね
娘のように
愛情をこめて
育てたからね
どうだい
食べてみるかい？
いいんですかっ!?
生のままで
大丈夫だから
いただきます！

うわぁ
甘い！
フルーツみたい!!
実がぎっしり！
深みのある香りが
口の中に広がる～！
最高～
編集部入って
よかった…!!!!
美味いだろ
うちは
土づくりから
こだわってる
からな
土ですか？
あぁ
俺らは
自然の生態系に
寄り添う形で
農業をしたいんだ
だから農薬を
使っていない
苦労はするが
こだわりをもって
野菜づくりを
していくつもりだよ

――こだわりをもって野菜づくりをしているとのことですが
人一倍苦労すると思うんです
なぜそこまで頑張ることができるんですか？
……
ここがふるさとだからだよ
でも未だにね
福島の野菜を食べるのは不安だって言われることがあるんだよ
えっ……
――！
だけど
食品中に含まれている放射性物質についてはね
出荷前に検査をして国が定める基準値を超えているものがもし見つかったら…
市場に流通しないよう必要な措置が取られているんだ
さらにその日本の放射性物質の基準値は
世界で最も厳しいレベルなんだ

君たちのように若い人たちが福島の野菜が美味しいって発信し続けてくれれば誤解はいずれなくなると信じているよ
では最後に将来どのような農家になりたいと考えていますか？
そうだな…
俺がやりたいのは夢のある農業なんだ
夢のある農業？
うんスーパーではなかなかお目にかかれない豊かな野菜を作りたい
…まぁ難しくて変人扱いされることもあるんだけどな
すごかったね
本当においしいものを作っているから食べてほしい！っていうエネルギーが伝わってきた！
うん

なんだか
わくわく
するね
早く書きたい！

――よし
原稿送信
…と

1時間後
ピコン♪
わっ
もう
根本さんからの
返信が来た！
え～っと…

え……

翌日
ミツキ
これ見て
根本さんから
ダメ出しの嵐が
きちゃって…

私も…
『取材のテープを
ただ文字にした
だけでしょう
もう一度
やり直し』って
書かれてた

そっか…

そりゃ
そうだよね
一発でうまく
いくわけ
ないよね

うん

……けど

あの農家さんの
気持ちは絶対に
伝えたい…！

しかし
その後も
何度原稿を
送っても
ほとんど赤で
戻ってきた

『ぐぐってわかる
情報は絶対書くな！』

『ふわっとした
言葉を使うな！』

『お金を
頂いているんだから
プロとして
恥ずかしくないものを
書きなさい！』

もう何回目…

何度書いても
戻ってくる…

どう書けば
いいんだろう

先輩たちの文章を
もう一度見直して
みようかな

伝える しま食べる通信

2017年夏

南相馬

トマ

……

……！

わ…私
思い違い
してたのかも
しれない…！

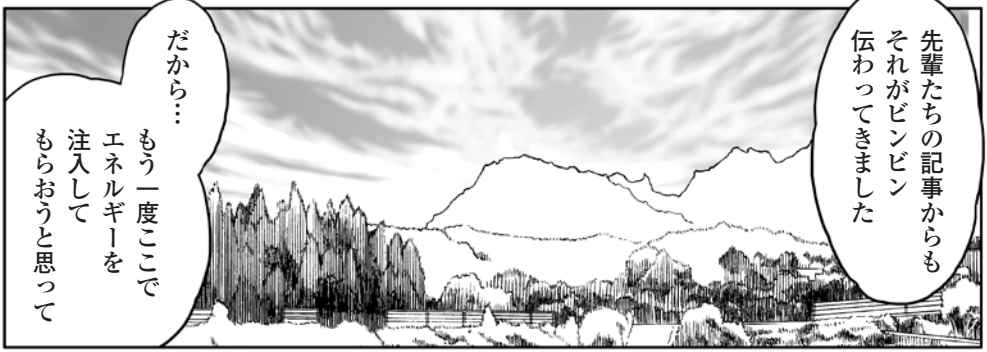
1週間後――
食べる通信編集部

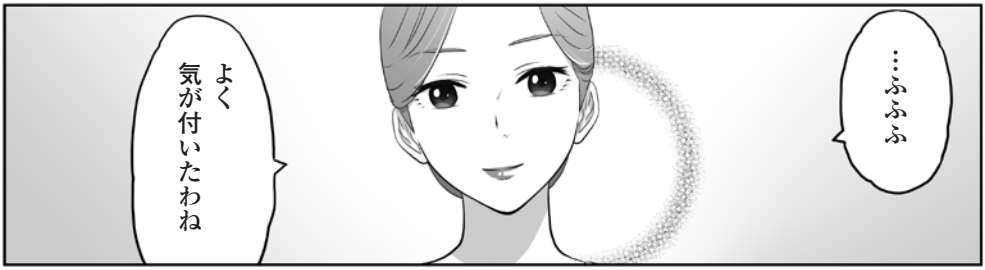
どうしたのかしら
ミツキさん
以前は毎日の
ように原稿が
送られてきたのに
ここのところ
全くね
メールしても
返ってこないし…

ガタ
！
もしかして
……！

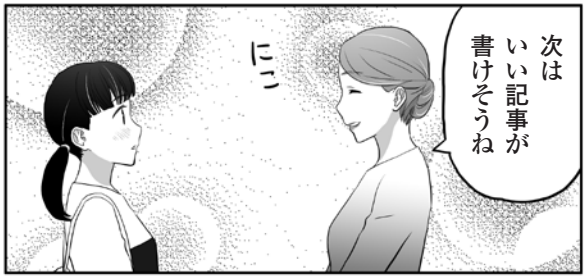
やっぱり…！
ミツキさん
なにやってるの!?
わっ

根本さん
どうして
ここに!?
あなたから
記事が送られて
来ないから
取材し直してる
んじゃないかな
って思ったの!
ちゃんと連絡
してもらえないと
困るわ
心配したん
だから
す…すみません
で
今回はちゃんと
取材はできたの?
……実は私
バックナンバーを
読み直したんです
これまで私
きれいな文章とか
整理された情報とか
伝え方ばかり考えて
記事を書いてました
けど…
私が伝えなきゃ
いけなかったのは
きれいな文章など
じゃなくて
『本当においしい
ものを作っているから
是非食べてほしい』
っていう
農家さんの
エネルギーだって
気がついたんです


先輩たちの記事からも
それがビンビン
伝わってきました
だから…
もう一度ここで
エネルギーを
注入して
もらおうと思って


…ふふふ
よく
気が付いたわね

読者が
知りたいのは
高校生の
あなたたちが
伝える
純粋に感じた
農家さんの想いよ


次は
いい記事が
書けそうね
にこ

はいっ!!
よかった……!

数週間後
2018年夏
高校生が伝える
ふくしま食べる通信
第14号
私が書いた文章だ！
すごい！
本当に雑誌になった…！
これを読んで一人でも多くの人に福島の今を知ってほしいね!!
見て お母さん 美味しそうな とうもろこしが はいってるよ！
あら 立派な とうもろこしねぇ
大したもんだ
ほら そのまま生で かじれるぞ！
作ってくれた人の ことがわかると いつもより美味しく 感じるね

数日後
見て見て！
フェイスブックに読者からの声が届いてる!!
『1000キロの道のりを越えてとうもろこしが来た！本当に美味しい！』
『生でとうもろこし食べたのはじめて！！紹介してくれた編集部のみなさんありがとう』
「作ってくれた農家さんの想いも届きましたよ今度は福島に行って食べてみたいです』
届いてる…ちゃんと私たちの声が…！
嬉しいね…!!
プルル
！
根本さんからだ

ミツキちゃん
フェイスブック
見た？
全国から
反響が来てるわよ
はい
たった今
見ました
ほかにも
「自分たちも復興の
ために何かできることは
ありせんか？」
なんて
問い合わせが
来たわ
・・・・・・・・・・・！

※マンガの登場人物は「高校生が伝えるふくしま食べる通信」編集部への取材をベースにしたフィクションです。